

LR独立保証声明書

三菱地所グループサステナビリティレポート 2021 に記載予定の 2020 年度環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて三菱地所株式会社に対して作成されたものであり、また、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（LR）は、三菱地所株式会社（以下、組織という）からの委嘱に基づき、三菱地所グループサステナビリティレポート 2021 に記載予定の 2020 年度（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日¹）の環境データ（以下、報告書という）について、下記の基準に対して LR の検証手順と温室効果ガス（以下、GHG という）排出量データについては ISO14064-3:2006 を用いて、限定的保証レベルの独立保証業務を実施した。LR の検証手順は、現在のベストプラクティスに基づき、ISAE3000（改訂版）に準拠し、包含性、重要性、応答性及びパフォーマンスの信頼性の原則を使用している。

LR の保証業務は、三菱地所グループの拠点と事業活動²及び以下の要求事項を対象とする。

- 選択されたデータが三菱地所グループの定める報告方法に従っていることを確認すること。
- 下記の選択された指標のデータと情報の正確性及び信頼性の評価
 - GHG 排出量^{3,4}スコープ 1、GHG 排出量スコープ 2（マーケット基準及びロケーション基準による）、GHG 排出量スコープ 3（カテゴリ⁵ 1, 2, 3, 5, 6, 7, 11 及び 12）
 - エネルギー消費量
 - 水消費量
 - 廃棄物排出量

保証業務の範囲は、報告書に言及されている上記に明示した以外の組織のサプライヤー、業務委託先、その他第三者のデータおよび情報を除く。

LR の責任は、組織に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LR は組織以外へのいかなる義務または責任を放棄する。組織は、報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析及び公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は組織によって承認されており、その責任は組織にある。

LR の意見

LR の保証手続において、組織が全ての重要な点において、

- 上記の要求事項を満たしていない
 - 誤りや脱漏は検出されず、正確かつ信頼性のあるデータと情報を開示していない
- ことを示す事実は認められなかった。

表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断による重要性に基づいて形成された。

注: 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

¹ 海外子会社は2020年1月1日～2020年12月31日のデータを使用している。

² 三菱地所株式会社と連結子会社 33 社を含んでいる。

³ スコープ1及び2排出量の定義は、The Greenhouse Gas Protocol – A Corporate Accounting and Reporting Standard による。

⁴ 温室効果ガス排出量の算定は固有の不確かさを持つ。

⁵ スコープ3排出量のカテゴリは、Greenhouse Gas Protocol – Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard, Table 5.3 の定義による。

LR の手続

LR の保証手続は、LR の検証手順に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、脱漏あるいは誤りが無いことを確認するため、組織のデータマネジメントシステムを審査した。LR は、内部検証を含め、データの取り扱い手順、指示書及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの集計と報告書の作成を担当する、主要な要員へのインタビューを実施した。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された 2020 年度の環境データ並びに記録を検証した。
- 選択されたデータの正確性及び信頼性の確認を意図した元データのサンプリングを行うため、日本の東京の三菱地所グループの施設（熱供給プラントおよび複合ビル）に対して、新型コロナウイルス感染拡大防止のため Zoom を使用したリモート審査を実施した。

LRの推奨事項

組織が自ら定めた算定手順を定期的に見直し、継続的な改善に努めることが望まれる。また、報告書の信頼性を確保するため内部のデータチェックを強化されることが望まれる。

LRの基準、力量及び独立性

LRは、少なくともISO 14065「温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項」及びISO/IEC17021-1「適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部 要求事項」の品質管理に関する国際規格の要求事項を満たし、また、国際会計士倫理基準理事会より発行されている職業会計士のための倫理規定に従った包括的なマネジメントシステムを運用し、維持している。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証審査の結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが組織に対して提供している業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

2021年6月17日



千葉 宙明

LR主任検証人

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR reference: YKA00000778_2

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract. The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2021. A member of the Lloyd's Register Group.